



## CM動画

### 「神経の痛み講座」編

[「痛み」篇](#)

[「部位」篇](#)

[「痛み+部位」篇](#)

それは神経の痛み、「神経障害性疼痛」かもしれません。

神経障害性疼痛は、さまざまな原因によって、神経が異常な興奮をすることで起こる痛み。代表的なものには、坐骨神経痛や腰痛症、帯状疱疹後神経痛、糖尿病神経障害による痛み・しびれなどがあります。ガマンしないで、お早めにお医者さんにご相談ください。

[もっと見る](#)

## 痛みが関係するさまざまな疾患

### 坐骨神経痛

多くの場合、腰痛に引き続いて発症し、お尻や太ももの後ろ、すね、足先などに痛みやし

### 腰痛症

腰痛の症状は、文字通り“腰の痛み”です。男性では1番目、女性でも肩こりに次いで2番目

## 痛みの基礎知識

[痛み相談シート](#)
[専門医施設検索](#)


普段私たちが感じる「痛み」には、切り傷や打撲による痛み、すぐに治る痛みや長く続く痛み、刺すような痛みやだるい痛みなど、さまざまな種類の「痛み」があります。また、痛みを感じる部分も、腰、首、頭、足など、いろいろです。

「痛み」はとても不快な感覚ですが、「痛み」とはそもそも何なのでしょう。自分の「痛み」を知って、「痛み」とうまくつきあっていきましょう。

[痛みとは](#)
[痛みの種類](#)
[痛みの慢性化](#)
[神経の痛み](#)

## 痛みとは

[痛みの役割](#)
[痛みを感じるしくみ](#)

### 痛みの役割

私たちは「痛み」を感じることで、身体に何らかの異常や異変が生じていることに気づきます。もし、「痛い」という感覚がなかったら、危険を察知したり、回避することができず、ケガや病気を繰り返したり、命の危険につながることもあります。「痛み」は、体温、呼吸、脈拍（心拍）、血圧と並んで、私たちが生きていることを示す“サイン（バイタルサイン）”ともいわれ、私たちの身体や命を守る、生命活動に欠かせない役割を持ちます。

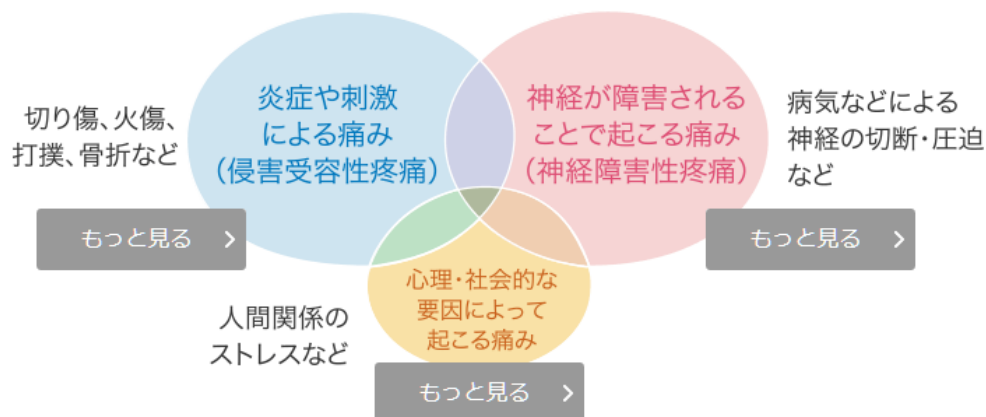
しかし、なかには「生命活動に必要ではない痛み」もあります。必要以上に長く続く痛みや、原因がわからない痛みは、大きなストレスになり、不眠やうつ病など、ほかの病気を引き起こすきっかけにもなります。このような場合は「痛み」そのものが“病気”であり、治療が必要です。



## 痛みの種類

ひとくちに「痛み」といっても、原因や状態によってさまざまです。

「痛み」は、その原因によって大きく3つに分けられます。長引く痛みなどでは、この複数の原因が関与していることが多いです。



## 痛みの慢性化

急に痛くなり、短期間でおさまる痛みは「急性の痛み」、1~3カ月以上と長く続く痛みは「慢性の痛み」といわれます。「急性の痛み」は、その原因となるケガや病気が治れば消えていくものですが、痛みが生じたときに適切な治療をせず、そのまま放っておくと、痛みが別の痛みを引き起こし、「慢性の痛み」に変わってしまう場合もあります。

痛みは、交感神経の緊張と運動神経を興奮させ、血管の収縮や筋肉の緊張を起こします。その結果、血行が悪くなり、「痛みを起こす物質」の発生につながります。



通常、痛みが生じて、交感神経の反応はすぐにおさまり、血行が改善されて、痛みが鎮まります。しかし、痛みが長引くと、血行の悪い状態が続いて「痛みを起こす物質」が多く発生するようになります。この「痛みを起こす物質」は血管を収縮させるため、さらに血行を悪化させ、また「痛みを起こす物質」が発生する、という「痛みの悪循環」を引き起こしていきます。

また、痛みが慢性化すると、痛みを引き起こした原因がなくなっても、痛みを取り去ることがなかなかできなくなります。

さらに、痛みが続くことで痛みにはばかり注意が向きがちになり、眠れなくなったり、不安や恐怖からうつ状態につながり、ますます痛みにとらわれて症状が重くなるという悪循環に陥ることもあります。

痛みは慢性化する前に、適切な治療を行って早期に原因を取り除くことが大切です。無理な我慢は禁物です。痛みの悪循環を断つため、早めに医療機関を受診するようにしましょう。

痛みが長く続いたり、さまざまなストレスにさらされていると、本来、私たちが脳の中に持っている「痛みを抑える神経」の力が弱くなり、痛みを普通より強く感じたり、痛みが慢性化することがわかっています。

## 神経の痛み

神経の痛み、神経障害性疼痛（しんけいしょうがいせいとうつう）とは、さまざまな原因によって、神経が異常な興奮をすることで起こる痛みです。

代表的なものには、坐骨神経痛や頸椎症、帯状疱疹後神経痛、糖尿病神経障害による痛み・しびれなどがあります。40代以上に多く、日本では約600万人以上\*の患者さんがいると推定されています。

[神経障害性疼痛とは](#)

[神経障害性疼痛の症状](#)

[神経障害性疼痛の原因](#)


### 神経障害性疼痛の原因


「神経障害性疼痛」の原因には、次のようなものがあります。

- 帯状疱疹ヘルペスやHIVなどのウイルスの感染によって、神経が障害された
- 糖尿病などの代謝障害によって、神経が障害された
- 脊柱管狭窄やヘルニアによって神経が圧迫／障害された
- 抗がん剤の副作用によって、神経が障害された
- 事故やケガなどで神経が切断／障害された
- がんの腫瘍によって神経が圧迫された
- がんの腫瘍が神経に広がった など

関連情報 [神経の種類と役割](#)

～長引く痛みがある方へ～  
2分でわかる！  
「神経の痛み」





神経障害性疼痛とは、どんな痛み？  
神経の痛みを2分で解説！

#### 痛み相談シート

お医者さんに痛みを伝えるのに  
お役立てください

#### 専門医施設検索

痛みについて相談できる  
専門医のいる施設を探せます

### 関連コンテンツ



[坐骨神経痛](#)



[腰痛症](#)



[診療の流れ](#)



[薬物療法](#)

総監修：日本大学総合科学研究所 教授 小川 節郎 先生

[痛み相談シート](#)[専門医施設検索](#)[痛みのQ&A](#)[痛みのコラム](#)[痛みの用語辞典](#)**痛みの基礎知識**[痛みとは](#)[痛みの種類](#)[痛みの慢性化](#)[神経の痛み](#)**痛みの疾患ナビ**[坐骨神経痛](#)[腰痛症](#)[頰椎症](#)[糖尿病神経障害に伴う痛み・しびれ](#)[帯状疱疹後神経痛](#)[三叉神経痛](#)[神経根圧迫による慢性疼痛](#)[線維筋痛症](#)**痛みの治療法**[薬物療法](#)[神経ブロック療法](#)[理学療法（リハビリテーション）](#)[認知行動療法・リエゾン療法](#)[その他の治療法](#)**診療の流れ**[受診の前に](#)[問診](#)[診察・検査](#)[診断・治療](#)[プライバシーポリシー](#) | [Terms of Use](#) | [サイトマップ](#)

Copyright ©2016-2017 Pfizer Japan Inc. All rights reserved. Copyright ©2016-2017 Eisai Co., Ltd. All rights reserved.